

問題一覧

21. 先進理工学専攻

1) 試験科目は以下の通りです。

区分	試験科目
選択科目 A 群	物理 I (力学) 化学 I (熱力学・化学反応論・化学平衡論) 生命科学 I (細胞生物学) 電気・電子 I (電磁気学)
選択科目 B 群	物理 II (量子力学) 化学 II (無機化学・有機化学) 生命科学 II (分子生物学) 電気・電子 II (回路理論)

2) 選択科目 A 群・B 群それぞれから 1 科目選択してください。

3) 電卓は試験会場に準備したものを使用してください。会場に自分で持ち込んだ計算機（電卓、コンピュータ、携帯電話等）で計算することはできません。

4) 面接試験当日、口述試験を実施します。「面接・口述試験の注意事項」に従って発表資料を事前に作成し、各自 9 分（内訳予定：発表 5 分、質疑応答：4 分）以内を持ち時間として発表してください。

※詳細は次の注意事項を確認してください。

【面接・口述試験の注意事項】

◆発表資料の作成

以下の内容に基づき発表資料の作成を行い、その資料データを USB メモリに保管し、各自、面接・口述試験当日の集合時間までに必ず持参すること。

◇発表資料の作成内容と枚数

- ・自己紹介<1 枚>
- ・現在取り組んでいる研究と期待する結果<3 枚>
- ・先進理工学専攻への志望動機<1 枚>
- ・将来の進路及びなりたい人材像<1 枚>

◇発表資料のファイルに関して

- ・発表資料は Microsoft PowerPoint のファイルで作成し、USB メモリで持参すること。
- ・発表資料は下記の要領でファイル名を付けること。

ファイル名：受験番号（英数字 5 ケタ）姓（英小文字）_名（英小文字）

【例】受験番号 M0001 番の大隈重信の場合 M0001okuma_shigenobu

- ・当日会場で使用する事務局用のパソコンの OS は Microsoft Windows である。

◆発表方法と面接時間

- ・発表は、事務局が用意したパソコンに受験生の発表資料をインストールして行う。インストール後の内容修正は認めない。
- ・一人あたり面接時間は計9分間とする。
内訳：発表（5分間）／教員との質疑応答（4分間）
- ・発表は、面接会場で投影する発表資料以外は何も見ないで行う。

◆面接の順番等

- ・面接の順番は面接試験当日の集合時に発表する。
- ・集合時の説明が終わった後、受験生は自身の発表の順番が来るまで受験生控室の外に出られない。
- ・面接が終了した場合は受験生控室には戻らないこと。